

管理型最終処分場建設事業環境影響評価準備書に係る意見書

関係機関名：伊賀市

番号	
1	・環境影響評価を行う過程において、項目及び手法の選定等に係る事項に新たな事情が生じた場合には必要に応じて選定した項目及び手法の見直しや追加調査、予測及び評価を行うこと。
2	・低周波に関して、周波数別低周波音圧レベルの調査結果が「心身に係る苦情の参照値Ⅰ」を上回る場所があったようですので、貴社の事業に起因するものかどうかは不明ですが、可能な限り原因調査に努めて下さい。
3	・アレチウリ、オオクチバス等、現地調査で確認されているものを中心に、特定外来生物の定期的な生息状況確認に努めるとともに、希少な生物や不時埋蔵文化財が発見された場合は、随時連絡すること。
4	・最終処分場は埋立容量に限りがあります。貴社については、廃棄物の様々な中間処理を行うことができますので、環境影響評価の結果等をふまえ、事業実施する際には、なるべく環境負荷を抑え、長期間使用することが出来る事業計画の策定に努めて下さい。
5	・第7期管理型最終処分場が現在埋立途中であり、環境影響評価事後調査も継続中ですので、その内容も考慮し、今後の調査に努めること。